

IVR に伴う被爆には最大線量に関して勧告がある。

FDA：推定最大線量 > 1 Gy の場合は記録が必要

ICRP：推定最大線量 > 3 Gy（繰り返す手技 > 1 Gy）の場合は記録が必要

被爆の影響

1 確定的影響：皮膚障害 2 Gy，水晶体障害 5 Gy，奇形（妊娠 2 - 8 週）0.1 Gy

2 確率的影響：癌の誘発，遺伝的影響

IVR に伴う皮膚被爆の測定結果

（機能性色素を使った放射線インジケーター）

PCI 97 手技の結果（PCI 時間 6 - 70 分）

最大入射皮膚線量 9.7 Gy

皮膚線量が 5 Gy 以上が 6%

最大点の分布は広範にわたる

対策：同じアングルで透視を繰り返さない。透視線量を常に意識して手技を行う等